



2022~2023 六甲部部報（下半期）

## 困難な時にこそYMCAと共に進もう



2022~2023年 六甲部部長 若林成幸

「ワイズよかばい！きなっせ熊本」の威勢の良い掛け声に惹かれ、再建なった熊本城（本丸）と第26回西日本区大会の余韻を楽しみました。前夜祭から始まった一連のプログラムに、理事はじめ実行委員皆さまの工夫と洗練された演出があったことに敬服しています。

私にとって初体験となる六甲部部長、2021年11月の次期役員研修会にはじまり最後の代議員会までの1年半は、私の20年に亘るワイズ生活の集大成との思いでもありました。役員会や研修会は一所懸命の思いで参加し、各役員の人となりやそれぞれがお持ちのワイズ観を得るべく交流に努め、それを糧にして部や自クラブのプログラム展開に独自カラーの表現を試みました。ある意味で自己実現がかなった貴重な時期を過ごさせて貰ったと思っています。そして幸運なことに、我が宝塚クラブは、優秀クラブ賞、地域奉仕・環境事業最優秀クラブ賞、最優秀ブリテン賞という願ってもない名誉を与えられました。この経験と感激は生涯忘れることはない宝物となるに違いありません。これからもYMCAをサポートし、ワイズの発展のために微力を捧げたいと思います。



過ぐる一年を通じ、部役員・各クラブ会長のご協力に対してお礼を申しあげ、以下に六甲部の一年間を振り返り部長報告とさせていただきます。

- ・部長主題「困難な時にこそYMCAと共に進もう」を掲げ厳しい経営環境とコロナ禍という二重苦にあるYMCAの現状を理解する一方、高齢化が進むワイズの現実の中で、YMCAとの協働やこれからのYMCA運動のあり様を考える1年となりました。
- ・1年間を通じて「ウイズ・コロナ期、ようやく日常性が戻ってきました」の印象を持ちました。
- ・ほぼ毎月初にZoom役員会を開催し、部則の見直し問題に相当の時間を費やし、部長通信を発行して西日本区と六甲部の共通の課題を一緒になって考えることに注力しました。
- ・部会で「ワイズのCS事例発表会」を行いCS活動の実際を披露。コロナで停滞した活動再開の切っ掛け作りを狙いました。CS活動事例集を編集して六甲部HPに掲載、いつでも誰でもが閲覧できるようにしています。
- ・デジタル技術の応用はクラブ間のコミュニケーションに大きく貢献しました。例会のハイブリッド化が進みコロナ禍の自粛生活に潤いを与え、遠隔地にあるDBCとの交流機会が増えました。
- ・YYYフォーラムが復活し、チャリティーランも縮小して開催されました。YMCAとの協働を進める上でYMCAの現状、特に若いスタッフの職場環境や課題に耳目を傾けることはYMCA理解の第一歩でもありました。



## <六甲部下半期活動報告>

### < 第二回評議会 >

日時 3月18日(土) 午後2時～4時

場所 神戸YMCA

出席 43人(評議会構成員数123人)

内容 ・2022年度活動の中間報告

部長・各主査の活動報告に続き、各クラブ  
会長が報告。

・部則の一部改正を承認

・2024～25年度部長 小野勅紘ワイズの承認

評議会の後は楽しい懇親会、三ノ宮のステーキハウス  
で美味しい料理とお酒をともに和やかなひととき。



### < 役員会 ZOOM >

日時 2月13日(月) 19:00～

出席 9人



### < 六甲部準備役員会 >

新旧役員引き継ぎ会

日時 5月13日(土)

場所 神戸YMCAチャペル

### < その他の六甲部行事 >

・第3回植樹祭

日時 2月23日(木)

場所 神戸市東遊園地

・井上総主事との懇談会

日時 3月9日(金)

場所 神戸YMCA





## <下半期六甲部事業主査・委員会活動>

### <YMCA サービス・ユース事業活動>

主査 井出 浩（神戸クラブ）



上半期には、YYYフォーラム、チャリティランがあり、それぞれ各クラブからの参加を得ることが出来ました。

下半期は、六甲部としてYMCAサービス・ユース事業としては、特段の活動は出来ませんでした。それぞれのクラブでYMCAとの協働、支援がなされたことと思います。感謝します。このような各クラブ固有のYMCAサービス・ユース事業の情報を集め、共有する機会を持ちたいと思いながら、実現できなかったことは申し訳なく思っています。

西日本区大会では、下半期の絵本プロジェクトがYMCAサービス事業として紹介され、六甲部7クラブが表彰されました。この絵本プロジェクトはメネット委員会の活動として行われたものであること、活動内容がYMCA関連の児童施設への支援であったことからYMCAサービスとして区の補助を受けた結果の表彰であることをあらためてご報告しておきたいと思います。

## <地域奉仕・環境事業>

主査 廣瀬 一雄（西宮クラブ）



### ①ワイズ100周年記念植樹

六甲部は3本目の植樹を  
2023年2月23日に神戸市役所  
南側の東遊園地にて実施。



### ②ゴミ拾い

2023年4月8日  
神戸市役所から神戸YMCA  
までの繁華街にて実施。  
各クラブから23名が参加。





## < 国際交流事業活動 >

主査 田辺 征一（神戸学園都市クラブ）

### 活動報告

#### 1. マーシャルスタッフ活動の件

2月4, 5日(土、日)に第3回東西日本区交流会がANAクラウンプラザホテル神戸で開催され、六甲部から32名がマーシャルスタッフとして会場受付・案内、分科会補助、その他多岐にわたり奉仕いただきました。ワイズメンズクラブ国際協会100周年、東西日本区25周年の記念すべき大会に少しでもかかわることができたことは感謝でした。

#### 2. BF使用済み切手回収の件

BF使用済み切手回収の依頼文をクラブの会長及び交流委員に送り、神戸YMCAまで提出していただくようお願いしました。コストの関係上、六甲部で一括して切手回収業者に送りました。神戸クラブ、西宮クラブ、神戸ポートクラブにご協力いただき、日本切手3.135 kg、外国切手1.33 kgが集まり、業者の買取価格は合計2,014円でした。

### 感 想

前期からの引継ぎもなく、何をすればいいのか今いちわからないままのスタートでしたが、皆様のご協力で務めを果たすことができ感謝です。交流の目玉である納涼会や新年会が行事の関係で出来なかったことは心残りでした。



## < EMC事業 >



### 主査 上杉 徹（神戸西クラブ）

主題を『ポストコロナ E. M. Cを柱に今日的な課題にY M C Aと他団体とのパートナーシップをつなぐワイズメンズクラブの再構築』といたしましたが、7月からの第7波、11月からの第8波と新型コロナウイルスの影響を受けつつも入会式等の出席は可能な限り参加することが出来ました。また、各クラブ共にゲスト・ビジターの数を増やして行くことが出来ています。

新規入会者を獲得するも、逝去されての退会、ご高齢のための退会と各クラブ高齢化の影響を受けています。

Y M C Aとの繋がりも少しずつ、活動がコロナ前に戻り始め以前の形に戻しつつあるが、地域社会の課題に取り組む他団体等のつながりは難しかった。今期もE M Cシンポジウムの開催は出来ませんでした。

表 1

| クラブ名      | 2022.7.1現在 | 退会 | 入会       | 2023.6末現在 | 6月入会 |
|-----------|------------|----|----------|-----------|------|
| 神戸クラブ     | 17+特メ10    | 1  |          | 16+特メ10   |      |
| 西宮クラブ     | 22+特メ1     | 2  | 1（森川）    | 21+特メ1    |      |
| 神戸西クラブ    | 11+特メ1     |    |          | 11+特メ1    |      |
| 神戸ポートクラブ  | 23         | 2  | 2（田代・幸田） | 23        |      |
| 宝塚クラブ     | 20         | 3  |          | 17        |      |
| 神戸学園都市クラブ | 12         | 1  |          | 11        |      |
| 芦屋クラブ     | 17         | 1  | 1（中島）    | 17        |      |
| 計         | 122+特メ12   | 10 | 4        | 116+特メ12  |      |





## < 広報委員会活動 >

委員長 大岩 雅典（芦屋クラブ）

六甲部広報委員長活動報告ですが六甲部7クラブ例会案内のHP掲載はうまく再開でき毎月若干の遅れはあるものの欠かさず掲載できたことはよかったと思います。

広報の大切さは 他団体の広報活動を見ていれば一目瞭然で、広く世間に知られている団体ほど広報活動が充実し、分かりやすく整理整頓され組織の内にも外にも理解されやすい内容が流布されていると感じました。

広報委員長が孤軍奮闘しても、なかなか理想道理にはならないという事を一年の活動を通して感じました。

組織的、定期的に広報活動を推し進めていく重要さを感じました。

次期広報委員にはそのことを、お伝えしたいと思います

## < メネット委員会活動 >

委員長

大野智恵（神戸ポートクラブ）



『六甲部絵本プロジェクト・絵本贈呈式』を2023年1月28日（土）、YMCA三宮会館チャペルにて行いました。六甲部のYMCAにつながる子どもの23施設に5,000円の図書カードを寄贈し、「絵本が育むもの」というテーマで専門家のお話を伺いました。子どもたちの豊かな心の成長に寄与できるこの活動を、今後もYMCA支援として継続していけるよう願っています。

他にも、「ベルマークを集めてYMCAを支援しよう」で継続的にベルマーク収集を続けました。

今期収集分は、次期においてYMCAの活動に役立てられます。

西日本区メネット事業はなくなりましたが、六甲部としてYMCA支援となる活動をメネット委員会として行いました。メネットの皆さんとの協働は、大変意義あることであったと感じています。





## < 六甲部7クラブ下半期会長報告 >

### < 神戸クラブ >

会長 美崎 晋



1月は恒例の井出ワイズ邸で、豪華料理を囲んでの新年例会でした。井出ワイズからは次期六甲部長としての意気込みをお話しいただきました。



2月例会ではPHD協会事務局長の坂西卓郎さんをお迎えし「PHD協会とYMCA」と題してメッセージを頂きました。

3月例会（メネットナイト）は神戸大学名誉教授のロニーアレキサンダー氏をお招きし平和への思い、差別のない社会への熱い思いをベースに「ジェンダーについての一般論」についてのスピーチでした。

4月例会は産婦人科医師の遠藤誠之先生より「次世代に向けての子育て支援～胎児治療からの母子支援～」というテーマでのスピーチでした。

5月は大蔵海岸にWACCAを招いてのBBQ例会が実現しました。総勢50人を超える盛大なイベントになりました。子供たちもお母さんたちも笑顔に溢れた会食の機会も増え、スピーチもバラエティーに富んだ内容で、充実した活動が出来たと思います。メンバー全員のご協力に感謝いたします。





## <西宮クラブ>

会長 濱 浩一



1月例会にて若林成幸六甲部部長立会いのもと森川俊介氏の入会式が執り行われ後半が始まりました。そして1月から3月までは、会長主題に掲げた神戸YMCA以外のボランティア活動グループのリーダーをゲストスピーカーにお招きしました。

1月は神戸いのちの電話の理事・広報委員長の中道京子さんにより『神戸いのちの電話の活動について』、

2月は公益社団法人家庭養護促進協会事務局長の橋本 明さんにより『里親を求める愛の手運動60年の実績から』、

3月は日本災害救援ボランティアネットワーク（NVNAD）常務理事の寺本弘伸さんにより『阪神淡路大震災とこれからの防災』についてお話し頂き、学びの時を持ちました。

4月は恒例の西宮YMCA職員との交流会（場所：ホテル竹園芦屋）に山口洋子元メネットやゲストをお招きし、多くの職員の方々と楽しく交流し、藤田元担当主事の担当主事交代ご挨拶もあり、全員での記念撮影によりお開きとなりました。

最後のトピックスとしては、会員の自宅などにたまっていたROSTERを集めて、発行元へ送り処分をお願いしました。

小野勅紘六甲部次々期部長への応援体制を六甲部の皆様をお願いし、1年間の活動報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。



## <神戸西クラブ>

会長 柳 敏晴



1月例会は、久しぶりに対面の懇親会でした。野口メンの入院・手術の大変さの体験談、加茂メンの幅広い次から次へと出てくる昔話、お酒も進み、皆が心から楽しめました。

2月公開例会は、出席者もあと少しで50名に届こうという盛会でした。神戸西ブランチリーダーOB・OGが多数参加いただけたのも、とても嬉しいことでした。講演内容は、YMCA時代に培われた福祉への想いを基本に、神戸大学での学び、研究調査のデータに基づいた理系の考えが貫かれている素晴らしい講演でした。懇親会も、大いに盛り上がりました。神戸西クラブ設立61周年のキックオフとして、希望を持つことができた例会でした。日本福祉大学学長児玉善郎氏、参加者、関係の皆様心から感謝いたします。



3月例会は「家庭養護促進協会の報告」を米澤普子氏（家庭養護促進協会主任ケースワーカー）で、子供たちが純粋に切実に命や愛について考える姿勢に感動し、また、親が子供たちに対して、生きることの重要性を教える真摯さ、真剣さに感銘を受けました。闇を照らす光の活動をこれからも支えていきます。

4月例会は「神戸いのちの電話の現状と課題」を宮里哲秀氏（事務局長）からお伺いし、コロナの影響により若い女性の「自殺」の件数が増え、十代を始めとする若年層の死因の第1位も、この数年変わらず「自殺」となっている時代、社会が分断され、孤立する中で『話を聴いて欲しい』という方は減少していないこと、ポストコロナの時代においても大切な役割が続いていく事をメンバーと共に学ぶ時でした。

5月例会は兵庫県サッカー協会会長の林啓司さんにお越しいただき、「サッカーの魅力」について熱いお話をお聞きすることができました。林さんのハンパでないサッカー愛を参加者全員で感じ、私たちも熱くなった楽しい時間でした。

6月例会は、年度末の評価会と合わせて、担当主事交代による坂本滋さんと新担当主事水野宏明さんの歓送迎会を実施しました。坂本さんへの感謝が述べられ、また、水野さんへの大きな期待が語られ、大いに盛り上がりました。

2月に行われた東西日本区交流会では、今回で、東京西・京都ウエスト・大阪西・熊本にし・神戸西の西連合（ペンタゴン）に、千葉西クラブが加わり、ヘキサゴンになったのが、大きな変化でした。ヘキサゴンの今後の展開を心強く感じました。6月に熊本で行われた西日本区大会には、大田、加茂、柳の3名が参加することができました。西日本区の活動の発展と、その中で六甲部も頑張らなければいけないと思わされた大会でした。

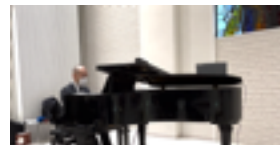


## <神戸ポートクラブ>

会長 中山 迅

### <月ごとに振り返って>

- (1月)・「音楽を楽しもう🎵」大久保有記氏@第1例会  
グラミー賞最優秀合唱パフォーマンス賞受賞  
・六甲部絵本プロジェクト



- (2月)・新入会メンバースピーチ@第1例会  
直近1年以内に入会したメンバーの自己紹介  
・石巻広域クラブとの交流@東西日本区交流会  
・ピンクシャツデーの取り組み(2月例会)  
・六甲部ワイズメンズクラブ100周年記念植樹  
神戸三宮東遊園地内に3本目の植樹(2月23日)



- (3月)・「テランガ(おもてなし)の国セネガルの人々とイスラム文化」  
オンバダ香織氏@第1例会

- ・YMI創立100周年記念大会@台湾・台北参加
- ・東日本大震災3.11追悼礼拝と感謝の会@石巻



- (4月)・被災地支援チャリティーコンサート  
開催石巻広域クラブとの協働：ウクライナ支援  
・DBC交流  
コンサートの当日、翌日、神戸案内



- (5月)・移動例会「たつの市散策」  
「伝統的重要建造物保存地区(伝建地区)」の散策  
・新玉ねぎファンド  
淡路へ出かけ箱詰め作業&販売促進



- (6月)  
・神戸ポートクラブ35周年に寄せて@第1例会  
チャーターメンバーによるスピーチ  
・IBCタイ・チェンライクラブ訪問・交流



### <感想>

新しいメンバーを迎えて、元気いっぱいのクラブ活動ができました。クラブ創立35周年にあたり、今後も元気に継続できるという実感がつかめた一年でした。例会の工夫、部や区での活躍等さまざまな場面で、クラブとして貢献できたと思います。また、台湾での国際協会創立100周年を祝う会参加や5年ぶりのタイ・チェンライクラブとのIBC交流も叶い、ワイズの醍醐味である交流の素晴らしさを改めて実感するとともに、今後も継続していきたいと思いました。

クラブを第一に、六甲部、西日本区、そしてエリア、国際とのつながりも大切にしたいものです。



## < 芦屋クラブ >

会長 大岩 雅典



芦屋クラブでは、新年早々新入会委員の中島かおりさんをワイズの仲間として迎え入れることができました

そして2月には恒例となっているYMC A留学生交流会が開催され美味しいお弁当とともに、歌や折り紙など、今までにない大変有意義な思い出に残る交流会ができました。



3月はメネット例会。メネットの活動は段々縮小していくなか今年も開催できたことが良かったです。来年も継続できるよう頑張って活動していきたいと思います

5月には竹園ホテルにおいて5月例会で日本のワインと フランスのワイン飲み比べ専門家をお招きして、日本のワインの歴史やワインの雑学について試飲しながら楽しく学びました。

リアルで集い、活動が再開することができたことがこの6か月間の成果でした。

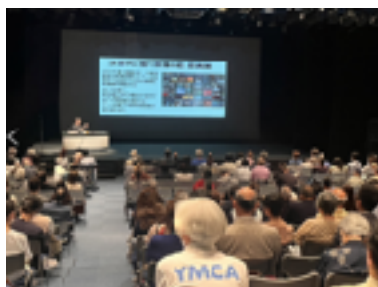
また来年に向け上野会長のもと沢山の活動ができることが期待できます。





## <宝塚クラブ>

会長 小林 康男



今年度、宝塚クラブは創立35周年に当たり、また六甲部長を担当することになっていました。こんな大変な年に会長を引き受けることになり正直言って不安でした。私にできることは、笑顔だけということで、主題は「みんなでつなごう心の輪 笑顔で健康 笑顔で幸福」としました。

新年になってからの主な出来事としては、2月に開催された東西日本区交流会に参加、DBCクラブ（鹿児島クラブ、東京町田コスモスクラブとその子クラブの東京町田スマイリングクラブ）との対面での交流会を持つことができました。

5月には創立35周年記念事業として宝塚ソリオホールにて「子どもたちの平和な未来を考える」イベントを開催、西日本区をはじめ六甲部やその他多くのワイズメンズクラブの支援、協力をいただき、ほぼ満席に近い方の来場をいただき好評のうちに終えることができました。その後がんこ宝塚苑にて、60名以上の出席をいただき35周年記念例会を行うことができました。ありがとうございました。



6月には熊本城ホールで開催された西日本区大会において、地域奉仕・環境事業の最優秀クラブ賞、理事表彰の最優秀ブリテン賞、その他優秀クラブ賞をはじめ8つの賞をいただき合計10の表彰を受けました。大きな舞台で表彰を受ける栄誉をいただき本当に有難うございました。



この1年、メンバーの多大なる協力をいただき、無事に会長の任務を終えることができ、感謝です。

会長になるまで、宝塚クラブの行事以外にはほとんど出席していなかったのですが、今年度は六甲部評議会や六甲部会、東西日本区交流会、西日本区大会、植樹祭、クリーンアップウォーキング等に参加し、他クラブの方々との多くの交流の機会があり、私にとっては充実したワイズメンズ活動の1年でした。

## < 神戸学園都市クラブ >

会長 杉本 隆人



- 1月19日(木) 新年懇親会 「金龍閣」名谷
- 1月29日(日) 学園都市 西町 地域清掃活動
- 2月16日(木) 2月例会  
公開例会「フルートアンダンテによる演奏会」
- 2月26日(日) 学園都市 西町 地域清掃活動
- 3月16日(木) 3月例会 「ヨガ教室」丸山インストラクター
- 3月18日(土) 第二回 評議会
- 3月26日(日) 学園都市 西町 地域清掃活動
- 4月20日(木) 4月例会  
「メンバートーク“今更聞けないワイズメンとは”」
- 4月30日(日) 学園都市 西町 地域清掃活動
- 5月18日(木) DBC 3クラブによる合同例会(リモート)
- 5月28日(日) 学園都市 西町 地域清掃活動
- 6月15日(木) 新役員就任式



まだまだ完全開放とはいきませんが、公開例会として「フルートアンダンテ」による演奏会を開催できたこと。恒例となっていたイベントで、3年ぶりに開催できたことは、演奏家の方々から感謝の言葉が溢れ、聴衆者の前で演奏できる喜びに満ちていました。

後期で、3クラブDBCでのリモート例会を開催したことも印象的なイベントでした。3年前までは考えられないような例会で、関東、中国、近畿での3クラブによる例会となり、盛り上がり時間が足りない感じで終わらなければいけない点と終了後の二次会が開催できないのが難点で、贅沢な望みですが、みんなと一杯やりながら、語り合いたい！早く全面開放でき、対面での例会を開催したい気持ちが強くなりました。

でも曲りなりに後期も例会ができ、本当に感謝です。 コロナも2類から5類になったのも束の間で第9波が静かに進行しているようなんです。皆様もくれぐれも油断せず、対策を怠らないように、共に頑張りましょう。

## < 監査報告 >

### 監事

大野 智恵（神戸ポートクラブ）



今期の六甲部は、若林部長のアイディアと推進力で地域奉仕活動の大切さを改めて認識し、また新しい挑戦として「生きた活動」がなされたと思います。また、前期からの継続事業『ワイズメンズクラブ100周年記念植樹』にも取り組み、クリーン活動も併せ

て実施できたことは、今後にも繋がるものと期待しています。

幸いなことにコロナ禍での活動から抜け出し、対面で計画された活動が滞りなく実施できたことは大変良かったです。六甲部部会、各事業で計画されたプログラム、そして評議会もメンバーが顔と顔を合わせて交流し、意見を交わすことができ、今まで当たり前のように思っていたことの意味が再確認できたように思います。ワイズの活動は良好な人間関係の基盤があつてこそで、相互理解のためにも交流は大切にしていきたいものです。

しかし、その中で評議会の在り方については以前から疑問に思っていました。部で各クラブの活動、部の事業を共有しその中で生じる問題点を解決するために、人数を少なくして（クラブの代表として在籍の1/4～1/5程度）コンパクトに集まり、出席者が十分意見交換できる会にできたら良いと考えます。もちろん、クラブの意見の吸い上げや報告に留意しなければならないということは言うまでもありません。

部長選出の難しさについても考えさせられました。私自身、輪番制のもとで昨年度部長を務めましたが、周りのサポートあつてこそできたことです。負担を少なくして無理なくいろいろな人がその役割を担うことができたら良いと思います。同時に、人材を増やすべく部をあげてEMCには本気で取り組む必要があると強く思います。





## ( 宝塚クラブ )

六甲部 会計

長尾 亘

六甲部 書記

多胡 葉子

六甲部 担当主事

橋本 唯



### 編集後記と感謝

宝塚クラブから若林成幸ワイズを六甲部部長として送り出すことで、宝塚クラブはクラブ一丸となって部長を支え、六甲部の活動をと決意して1年間楽しくワイズ活動に励んできました。

コロナ禍の状況のもととはいえ昨年度よりも緩和された制限で対面での部会、評議会も開催することができたことは何よりのワイズのつながりを豊かにした一年になりました。同時にオンラインという最新の情報も取り入れ役員会はZOOM会議により各クラブ間の情報共有もすることができた一年でした。色々不備な点は多々あったとは思いますが、1年間の活動を皆様方のお支えのもと無事次期のキャビネットに引き継いでいただけることキャビネット一同心から感謝し、お礼申し上げます。

六甲部キャビネット

